

平成 26 年度の耐震化事業の結果について

平成 26 年度に実施した公共建築物の耐震化事業（耐震診断、耐震改修工事設計）の結果は次のとおりです。

1 公共建築物の耐震化事業の状況

（1）平成 26 年度実施の耐震診断

	施設名	所在地	診断結果 Is値 ^{※1} (最低値)	備考
1	中央図書館	御成町20番35号	0.55	平成27年度 耐震改修設計予定
2	笛田公園管理事務所	笛田三丁目30番1号	0.71 ^{※2}	耐震改修不要 ^{※3}

（2）平成 26 年度実施の耐震改修設計

	施設名	所在地	診断結果 Is値 ^{※1} (最低値)	備考
1	鎌倉体育館	由比ガ浜二丁目9番 9号	建物全体0.71 (鉄骨屋根改修要)	平成26～27年度 耐震改修工事予定

※1 建物の耐震性能を表す構造耐震指標（Seismic Index of Structure）

※2 笛田公園管理事務所は軽量鉄骨造であるため、Is 値は参考値

※3 笛田公園管理事務所は、太陽光発電を設置する予定で、屋根荷重が増加することなどから、耐震改修を行う予定

2 耐震性能の指標（Is 値）について

Is 値は建物の耐震性能を表す構造耐震指標（Seismic Index of Structure）の略で、建物の構造部材の強度と粘りをもとに、形状や劣化を考慮して算出するものです。

Is 値が大きいほど、構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性が高いと判断されます。

国の基準では、「Is（各階の構造耐震指標）が 0.6 以上の場合で、かつ、q（各階の保有水平耐力に係る指標）が 1.0 以上の場合、地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い」とされています。